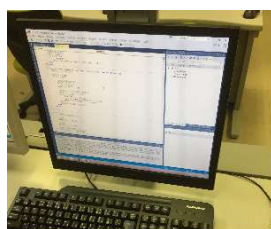
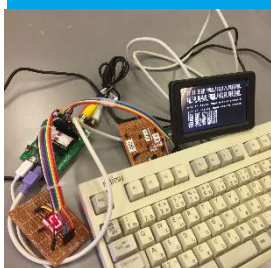


# 情報技術科



プログラミング実習



マイコン制御実習装置  
(ichigojam)



マイコン制御  
実習風景



電子工作作成



お祭用電飾作成

## 情報技術科とは

兵庫県教育委員会 特色学科指定 定時制では全国唯一の学科

## 情報技術科に向いている生徒

ゲームの仕組みを知りたい・作りたい

コンピュータが好き 電子工作が好き プログラミングに興味がある  
コンピュータを使って何かを動かしたい 資格取得に挑戦したい

## 情報技術科で学ぶ内容

- 1 コンピュータ機器のしくみを学びます  
情報機器を構成するデジタル電子回路などハードウェアを学びます。
- 2 コンピュータを働かせるためのソフトウェアを学びます  
ワープロや表計算などのソフトの使い方はもちろん、BASIC言語やC言語・HTML言語などを学びプログラムを作成し活用できる技術を学びます。
- 3 インターネットなどの情報通信技術を学びます  
現在の生活では欠かすことのできない、インターネットの仕組み・技術の理解ができます。
- 4 コンピュータ・プログラム技術を利用した制御技術・ロボット技術などを学びます。  
日常生活で使用しているモーターの制御を行ったり、センサーを利用しものを制御したりします。
- 5 2年間にわたり、1・2年生で学んだ知識・技能を活かし、ゲームプログラミングや複雑な電子回路の作成などの個人の作品制作を行います。

## 専門教科について（平成30年度 入学生）

- 1年 工業技術基礎 情報技術基礎 プログラミング技術
- 2年 実習 工業数理基礎 プログラミング技術 ソフトウェア技術
- 3年 課題研究 実習 ハードウェア技術 ソフトウェア技術
- 4年 課題研究 実習 製図 ハードウェア技術 コンピュータシステム技術

特に、情報技術科では1年次よりプログラム言語である、C言語の学習を行います。定時制高校では、とても珍しい取り組みの一つです。

## 資格取得について

情報・通信技術に関する資格取得に挑戦します。資格取得をすることにより、目標に向かい努力し、合格することの達成感を味わうことにより、自身に繋がります。

なお、情報技術科では、毎年、複数の資格に挑戦し合格しています。また、基本情報技術者などの高度な資格にも挑戦し合格している者もいます。

多数の資格を取得することにより、兵庫県工業部会工業技術顕彰や全工協：ジュニアマイスター顕彰制度など、外部団体からの表彰を受けることも可能です。

## 情報技術科受験可能資格（例）

【全工協】計算技術検定 情報技術検定 基礎製図検定

【情報関係】基本情報技術者 ITパスポート デジタル技能検定

【通信・無線技術】工事担任者 DD種 特殊無線技士

過去には、全国工業高等学校校長協会主催 ジュニアマイスター顕彰制度において、特別表彰を受賞した生徒もいます。特別表彰は、全日制の生徒でも受賞がとても難しいものになっています。

## 卒業後の進路について

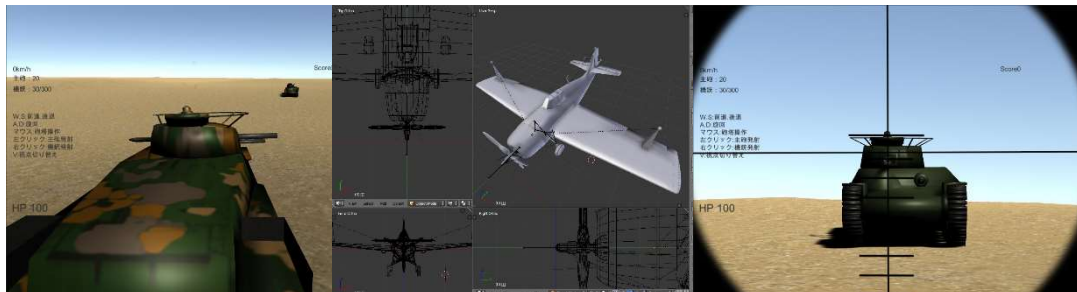
学科の特性を活かした、就職・進学を目指します。近年では、4修生で情報技術の基礎・基本をしっかりと学び、大学・短期大学・専門学校に進学する生徒が、増加しています。中には、産業技術短期大学に進学した生徒の中には、関西大学等に編入し、頑張っている者もいます。就職に関しても、学科全体で指導にあたり、希望の職に就けるようにサポートしています。

## 課題研究作品紹介

情報技術科では、他の学科と違い課題研究を2年間かけて行っています。それにより、深い内容の作品を作成することが可能です。以下に卒業生の作品を紹介しています。

生徒ひとりひとりが、課題を設定し目標に向かい、さまざまな作品の作成に取り組んでいます。特に、ゲームの作成が人気です。完成度の高いものもたくさんあります。

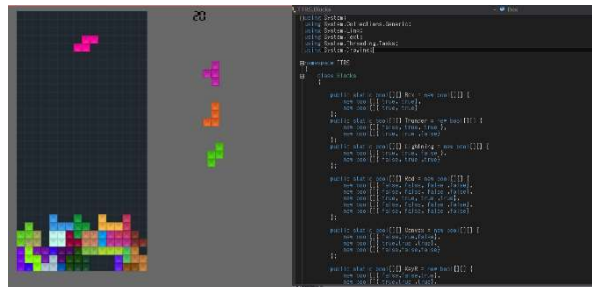
### 3Dシューティングゲーム



### 2Dシューティングゲーム



### ブロック崩しゲーム



これらの作品は、生徒が企画し、プログラムや3Dモデルを作成し、実際に遊べるゲームです。このような、ゲーム作りを学べる環境があることも情報技術科の魅力の1つです！！